

2014年12月の日経平均株価

2014年12月の日経平均株価は月末終値が1万7450円77銭と、11月末に比べ9円08銭安で引けた。月間ベースでは、小幅ながら4カ月ぶりの下落。中旬までは前月までの流れを引き継ぎ、8日の取引時間中には一時、1万8000円台に乗せるなど堅調相場が続いた。年末年始休暇中の外部環境の悪化を警戒した売りに押される形で最後の2営業日で大きく下げ、値を消した。14年通年では1159円46銭(7.12%)高と、3年連続の上昇となった。

今月のトピック：日経平均株価、3つのトリビア

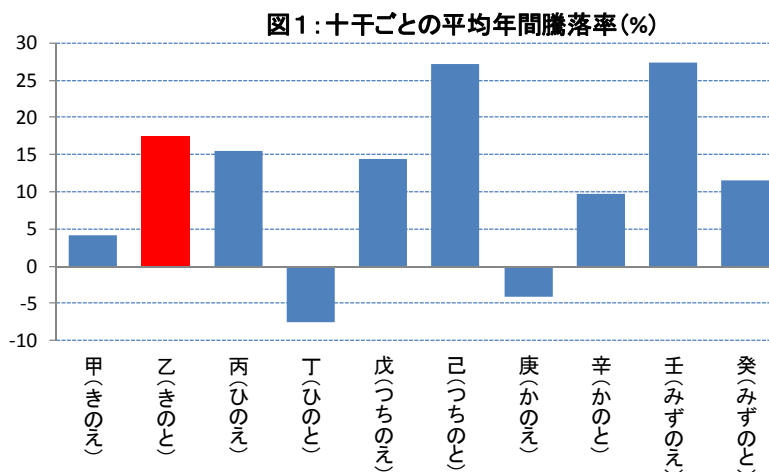
昨年、一昨年に続き、年末年始にちなんだ日経平均株価のトリビアを紹介する。

2015年は「未辛抱」というけれど…

2015年は未(ひつじ)年。相場格言では「未辛抱」といわれ、耐える年とされる。十二支別の年間騰落率の平均を集計してみても未年は7.6%高と、「成績」は下から4番目と振るわない。だが、干支のもう一つの構成要素で、10年で一周する「十干」で見ると、違う結果が見えてくる。

15年の十干は「乙(きのと)」。過去に6回あった乙の年は、日経平均がすべて上昇している。平均騰落率もプラス17.5%で上から3番目だ。今から60年前、干支が「乙未」で15年と全く同じだった1955年の日経平均の年間上昇率は19.5%だった。

ちなみに、乙以外で過去すべて上昇しているのは「己(つちのと)」だけ。己は平均上昇率も27.2%と高く、大納会に日経平均が史上最高値を付けた1989年、ITバブルに湧いた99年はいずれも己だった。



イベントと株価、有名な「大統領選の前年は強い」を超えたのは…

次にイベントと株価の関係を紹介する。2014年もしくは15年に関連する6つのイベントについて、過去に同じイベントが起きた年(または翌年)の日経平均株価の年間騰落を調べ、上昇を勝ち、下落を負けとして勝率を計算したのが表1だ。

このうち最も有名で、15年の株式相場を占ううえで心強いアノマリーは「米国大統領選挙の前年の株

式相場は強い」ではないだろうか。米大統領選は第二次大戦後 17 回あったが、その前年の米ダウ工業株 30 種平均はすべて上昇している。米国株との連動性が高いとされる

表1: イベントと株価

イベント	選ばれた年の定義	勝率	上昇回数	下落回数
株価指数先物	新先物取引開始の翌年	80%	8	2
大発会の日	1月4日以外の年	69%	9	4
アメリカ大統領選前年	選挙の前年	69%	11	5
ノーベル賞	日本人受賞の翌年	64%	9	5
年間三連騰以上	四年目も上昇するか否か	60%	3	2
衆議院議員総選挙	選挙の翌年	57%	13	10
年間騰落	1950年以降の年間騰落	63%	41	24

る日経平均の上昇した回数も、過去 16 回中 11 回。勝率は約7割に達する。

その米大統領選を上回ったのは、「新しい株価指数先物が取引を開始した翌年」の勝率。過去 10 回のうち 8 回上昇し、勝率は 8 割に達した。例えば、日経平均先物が大阪証券取引所(現・大阪取引所)に上場した翌年は日経平均が史上最高値を付けた 1989 年。年間上昇率も 29%と高かった。JPX 日経 400 先物が上場した翌年にあたる 15 年の株式相場はどうなるだろうか。

最高値から 25 年、上昇日数が初めて下落日数を上回る

2014 年の大納会は、1989 年の大納会に日経平均株価が過去最高値を付けてからちょうど四半世紀に当たる節目だった。この間、上昇日と下落日の日数は常に下落日のほうが多かったが、14 年はバブル崩壊後で初めて上昇日が下落を逆転、大納会時点では上昇が 7 日多くなった。

下落日数が上昇を上回る現象は 2003 年の 3 月がピーク。その差は最大で 130 日にのぼった。その後は徐々に差が縮まり、13 年末時点では 7 日まで接近していた。日経平均は 89 年末のピークからなお半値以下の水準にとどまるが、上昇日数が下落を上回ったことは潮目が変わったサインかもしれない。

日経指数月次サマリー(2014年12月)

(データは12月末時点)

指数名	指数値	年間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	17450.77	-0.05%	0.04%	1.28%	17935.64	12月8日	13910.16	4月14日
JPX日経インデックス400	12768.42	-0.52%	0.04%	1.19%	13148.44	12月8日	10314.83	4月14日
日経平均トータルリターン	25683.09	0.07%	0.04%	1.29%	26364.68	12月8日	20271.52	2月4日
日経平均ボラティリティ	26.36	10.76%	0.21%	5.71%	33.21	2月4日	14.00	7月17日
日経平均VIX先物	48930.85	-3.30%	-0.22%	2.49%	97741.36	2月4日	38902.54	9月29日
日経平均ドルヘッジ	18560.70	0.01%	0.03%	1.29%	19057.02	12月8日	14848.66	4月14日
日経平均ユーロヘッジ	16337.17	-0.01%	0.03%	1.29%	16782.65	12月8日	13039.38	4月14日
日経平均カバードコール	15122.25	1.15%	0.04%	1.13%	15365.40	12月8日	12348.19	2月4日
日経平均リスクコントロール	16566.19	0.01%	0.01%	0.73%	16788.71	12月8日	14898.08	4月14日
日経平均レバレッジ	12727.83	-0.41%	0.07%	2.57%	13483.85	12月8日	8275.01	4月14日
日経平均インバース	2836.77	-0.25%	-0.04%	1.28%	3651.06	2月4日	2768.05	12月8日
日経平均ダブルインバース	3777.59	-0.81%	-0.07%	2.57%	6467.31	2月4日	3607.22	12月8日
日経株価指数300	284.47	-0.27%	0.04%	1.19%	292.71	12月8日	229.49	4月14日
日経中国関連株50	1530.82	-0.18%	0.05%	1.20%	1591.65	12月8日	1220.64	2月4日
日経500種平均株価	1514.02	0.55%	0.06%	1.17%	1548.88	12月8日	1191.33	2月4日
日経JAPAN1000	1662.22	-0.24%	0.04%	1.19%	1710.64	12月8日	1335.72	4月14日
日経ジャスダック平均株価	2363.94	0.17%	0.06%	0.82%	2377.80	12月2日	1890.85	5月19日

指数名	指数値	昨対比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	240.53	15.19%	240.53	2014	81.35	2002

注: 平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出

日経配当指数の昨対比は昨年12月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレマー】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害について、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。